

プレスリリース

2025.11.05

Cubase 15: 音楽制作の新たな世界標準

最新版 Cubase が登場。ユニークなサウンドクリエイト機能や詳細なコントロールと扱いやすさが融合した Cubase 15 は、音楽制作ソフトウェアの新しいリファレンススタンダードとして全面的な進化を遂げています。



ドイツ、ハンブルク — Steinberg は Cubase 15 を発表、ならびにリリースしました。創造の可能性を広げる革新的な機能、合理化されたワークフロー、そして直感的なデザイン。世界中で高く評価されるこの DAW は、最新バージョンにおいてさらに音楽制作体験をレベルアップさせます。

3つのグレード Cubase Pro / Artist / Elements で構成された Cubase シリーズは、あらゆるジャンルやレベルの音楽制作をアイデアスケッチから完成までカバーします。

Cubase 15 の新機能は、ハイクオリティなサウンドメイキングと独自の音楽性を創造するための新たな世界基準として、ビギナーからハリウッド大作映画のコンポーザー、ビルボードチャートのプロデューサーまで、音楽家たちの感性を触発し、制作を支えます。

クリエイティビティを拡げる新機能

Cubase 15 は VST インストゥルメントの奏法表現を切り替えるエクスプレッションマップシステムを刷新しました。設定の合理化、アーティキュレーション毎のアタック補完を備え、キーエディター / スコアエディターとの統合も強化。よりわかりやすく、さらにリアルな次世代のアーティキュレーションコントロールを提供します。

パターンエディターには、表現力豊かなメロディパターンをモノ / ポリフォニックで作成できるメロディックモードを新搭載。ステップ入力、カスタムスケール、シェイプ生成、そして強力なランダムマイザーも備え、革命的なシーケンスを生み出せます。また、メロディックモードで使えるベースラインやリード、コード、アルペジオを含む新たなパターンバンクプリセットも付属します。

Cubase 14 で搭載された革新的な Modulators には、ランダムジェネレーター、サンプル & ホールド、ウェーブホールド LFO など新しい 6 つのモジュレーターを追加。さらにコード進行のアイデアを瞬時に得られるコードパッドには、ジャズ、ソウル、ポップ、インディなどのボイスिंगを含む 30 のプリセットを追加しました。

よりスマートに作業

Cubase 15 は音楽制作過程をより一層スマートで直感的にし、浮かんだインスピレーションをソフトウェアが邪魔しないようにデザインされています。

プロジェクトの開始画面である Hub を一新。画面セクションごとのリサイズやオーディオ設定、プロジェクトプレビュー、そして強力なフィルター検索機能を搭載しました。

DAWproject フォーマットへの対応強化により、Cubase の全グレード、Cubasis、他社製対応 DAW との互換性を拡張。プロジェクト構造を失わずにファイルの共有が可能です。

ミックスされたオーディオを AI アルゴリズムで分離可能になり、リミックスやバランス調整、またクリエイティブなサンプリングに活用できます。

新しいオートメーションショートカットでは自動的に、最後に操作したパラメーターを優先表示。メニューもシンプルになり、編集時のより素早いアクセスを助けます。

また、プロジェクトのトラックエリアにボリュームとパンを追加可能になり、視認性向上のためにレイアウトカスタマイズがより柔軟になりました。

そして、オーディオのレンダリングを高速に行えるクイックエクスポートオプションは、制作途中でのプレビューやバウンスの書き出しに最適です。

VST インストゥルメント / エフェクトプラグインの強化

Cubase は Steinberg が開発した業界標準規格 VST プラグインの搭載により、サウンドクオリティ、全方位のジャンル対応で世界をリードしています。

Cubase 15 では Drum Machine に 40 種のモダンなドラムキットを追加。ヒップホップ、トラップ、エレクトロに最適なビートを作成できます。すべて配列済みでトラックに直接ドラッグでき、微調整も可能です。

またドラム音源 Groove Agent SE がバージョン 6 に進化。UI のスケーリング、新しいミキサー、エフェクトの拡張が施されました。

ソングライターのためには、すぐに制作に使えるピンテージシンセライブラリー Writing Room Synths を用意。魅力たっぷりのリード、ベース、パッドの数々をソングライティンググループに届けます。

さまざまなジャンルのループと刺激的なサンプルのパック Songstarter Packs も、アイデアを素早く得たいときに便利です。

そしてベータ版として付属する Omnivocal は、ヤマハの最先端のボーカルシンセシステクノロジーを用いた、ナチュラルで表現力のある歌声を合成できるプラグイン。キーエディターに直接ノートと歌詞の入力が行え、スムーズなワークフローを提供します。

Cubase 15 ではエフェクトもさらに充実しました。新しいダイナミクスプロセッサー UltraShaper はトランジェントシェイピング、クリップリミッティング、EQ スカルプティングを搭載し、洗練されたダイナミクスコントロールが可能です。

また修正にもクリエイティブ用途にも使えるリアルタイムピッチシフター PitchShifter は、フォルマントコントロール、サチュレーションモード、ステレオリンク解除を装備し、±24 半音範囲をカバーします。

そして、搭載プラグインの大半が UI の拡大縮小に対応。視認性を損なわず、フルスクリーン表示や画面の節約ができます。

その他の改良

もちろん Cubase 15 の進化は目立つ新機能だけではありません。これまでと同様、細部にも重要なアップデートが施され、音楽制作過程をより素早くスムーズで、さらにクリエイティブにしてくれます。

スコアエディターは、ツールの追加、ワークフローの高速化により楽譜作成をより快適にします。

サンプルトラックと MediaBay を用いた瞬時のサンプルを入れ替えも可能になり、フィルター付き検索ショートカットも装備しました。

そして macOS 版では、ピンチジェスチャーを使ったズームに対応。タイムラインの拡大縮小をスムーズかつ直感的に行えるようになりました。

Matthias Quellmann (Senior Marketing Manager):

“我々は Cubase コミュニティと密接に連絡を交わし、貴重なフィードバックを通じてユーザーに何が最も求められているかを把握した上で、日々の制作作業をよりスムーズで直感的にできるような改良を施しました。このバージョンはこれまでのバージョンの基礎を自然に踏襲した上で構築されており、Cubase らしい、大きな進化を遂げています。”

価格と販売方法

Cubase Pro 15、Cubase Artist 15 そして Cubase Elements 15 は、販売店ならびに Steinberg Online Shop にて販売します。市場価格はオープンです。

アップデートやアップグレード、クロスグレード、アカデミック版は Steinberg Online Shop から販売しています。

Cubase Pro 14、Cubase Artist 14、Cubase Elements 14 またはそれ以前のバージョンを 2025/10/9 以降にアクティベートした方には、無償にてお持ちのグレードと同じ Cubase 15 を提供いたします。

新機能概要

- エクスプレッションマップの改良: アーティキュレーションシステムを刷新、エディターとの統合を拡張し、ワークフローを大きく向上 [Pro]
- ステム分離: AI アルゴリズムによりステムを分離。リミックスやサンプリング、編集の自由度を拡大 [Pro]
- Modulators: 6 種のモジュレーターが加わり、サウンドデザインをさらに拡張 [Pro]
- UltraShaper: EQシェイピング、リミッティング、トランジェントコントロールを備えた自動補完コンプレッサー [Pro]
- メロディックパターンシーケンサー: ランダマイズ、スケール、ステップ入力に対応し、素早くパターンを作成 [Pro • Artist]
- Pitch Shifter: リアルタイム ± 24 半音のシフト、フォルマントコントロール、サチュレーション、ステレオ分離を備えたリアルタイムピッチシフター [Pro • Artist]
- Writing Room Synths: プロのソングライティング環境からインスパイアされたシンセプリセットの数々 [Pro • Artist]
- Drum Machine キット: モダンなビート & グルーヴのため 40 種のドラムキットを追加 [Pro • Artist]
- オートメーションの強化: より素早く簡潔なオートメーションを実現 [Pro • Artist • Elements]
- 新しい Hub: Cubase のスタート画面をリフレッシュ。プレビュー、フィルター、オーディオ設定などを統合 [Pro • Artist • Elements]
- サウンド & ループ: 素早くアイデアを得られる、さまざまなジャンルのループパックを追加 [Pro • Artist • Elements]
- コードパッドプリセット: さまざまなコード進行に対応した 30 種のプリセットを追加 [Pro • Artist • Elements]
- Omnivocal (Beta): 入力したノートと歌詞を歌う Yamaha の新しいボーカルシンセ [Pro • Artist • Elements]

- macOS フルスクリーン: ネイティブフルスクリーン表示に対応 [Pro • Artist • Elements]
- トラックコントロール: ボリュームとパンを直接プロジェクトウィンドウのトラックに追加 [Pro • Artist • Elements]
- DAWproject を Elements/AI/LE に拡張: Cubase の全グレード、Cubasis、対応 DAW とのプロジェクト共有 [Pro • Artist • Elements]
- Groove Agent SE 6: UI、ミキサー、エフェクトを一新し、洗練されたドラムプログラミングを実現 [Pro • Artist • Elements]
- サンプラートラックの改良: MediaBay ブラウザのフィルター検索を統合したサンプルのホットスワップに対応 [Pro • Artist • Elements]
- プラグインの UI スケーリング: 標準搭載プラグインエフェクトほぼすべてがユーザー指定の拡大/縮小に対応 [Pro • Artist • Elements]
- ピンチジェスチャー: macOS のピンチジェスチャーに対応しタイムラインのズームが快適に [Pro • Artist • Elements]
- クイックエクスポート: 素早くオーディオをバウンスできる書き出しオプション [Pro • Artist • Elements]
- スコアエディター: より素早く快適な楽譜作成のためのツール追加とワークフロー強化 [Pro • Artist • Elements]

Press contact

Stefan Trowbridge

Public Relations Manager

Steinberg Media Technologies GmbH

E-mail: press@steinberg.net

Phone: +49 40 210 35 0

Steinberg Media Technologies GmbH について

Steinberg は音楽制作およびオーディオソフトウェアのソリューションで世界的に知られ、1984 年以来、ミュージシャンや音楽プロデューサー、映画、ポストプロダクション、マルチメディア業界のための革新的な製品開発および販売を続けています。Steinberg 製品はグラミー賞やオスカー賞に輝くコンポーザーやエンジニア、プロデューサーに広く使用されています。詳しい情報は www.steinberg.net をご覧ください。